



SEIKO
SPORTS
TIMER

NO TIME

天文科学館



5.46.00
SEIKO Sports Timer

明石市立天文科学館

大時計稼働式

震災3周年の平成10年1月17日午前5時46分、天文科学館の新大時計が稼働

復興への息吹



天文科学館再開に向け行われた新大時計の取り付け工事（平成9年6月18日）

「天文科学館は再建できるのか」。震災当初、同館職員ですら想像がつかなかったといいます。1年がかりの再建計画策定の後、約40億円を要した復旧作業で、地震発生から3年2か月で見事に復活、市民が待ち望んだ雄姿を見せてくれました。



元天文科学館館長
河野健三さん

あと2か月半で退職という時の出来事でした。「館が倒れていないか」。家から館に着くまで、それしか頭にありませんでした。館はいつものように建っていたものの、外壁や館内の亀裂を見て、天文科学館に勤めた35年間を否定されたように感じ、全身の力が抜けたのを覚えています。私が在職するわずかな期間では、大時計の針を動かすことしかできませんでした。何も決まらないまま退職を迎えた日、今でも表現しようのない、複雑な心境でした。

あれから5年。今、楽しそうに館を訪れる人を見て、震災前の気持ちを取り戻しています。「明石のシンボル、天文科学館に長く勤めることができ、本当に良かった」と。



より安定した水供給のために建設した魚住浄水場内の配水塔



昼夜を問わず進められた水道復旧工事（東人丸町）

市域の約7割で断水を余儀なくされた中、市水道部は、全力を挙げて復旧作業に取り組み、当初の目標通り2週間でほぼ復旧を終えました。



明石市管工事業協同組合理事長
松尾一雄さん

「一日でも、一軒でも早く水を出したい」。水道本管は市が、家庭の宅内管は組合員（工事業者）が担当するため、常に連絡を取り合いながらの作業でした。作業箇所の多さに交通渋滞も加わり、昼夜を問わず作業に追われていました。作業の合間に2時間程度睡眠をとるという毎日で、いつ終わるのか予想もつきませんでした。

激務を支えたのは、水が出た時のみなさんの喜ぶ表情でした。人が生きるために最も大切な水にかかわる者として、あの時の教訓は生かし続けなければならないと、今なお実感しています。





震災直後の花園小学校。壁のはく離や亀裂が生々しい

すべての学校、園が被害を受けた中、甚大なダメージを受けた花園小学校は、校舎の一部建て替えを余儀なくされました。2年間続いた仮設プレハブ校舎での生活にも、子どもたちは、くじけることなく明るい笑顔を見せていました。



元花園小学校校長
長谷川達雄さん

自宅(加古川市)で大きな揺れを感じた後、「東方面はひどいことに」という直感から、すぐに家を飛び出しました。学校に到着し、校舎を点検していくうち、壁や柱の亀裂を目の前にし被害の大きさを実感しました。

「一日も早い登校」を合言葉に、一般授業の教室に特別教室や幼稚園の一部を確保し、また、教職員らで通学路の安全を確かめました。校舎の傷を子どもたちに見せまいと、教職員全員でダンボールを貼って傷を覆い隠しました。

あの時期は、「教員、保護者、そして地域が一丸となって大切な子どもたちを守らなければ。そして、そのために教育現場は常に危機意識を忘れてはならない」と、自分に言い聞かせる毎日だった様な気がします。





住民同士のふれあいが仮設住宅での暮らしの支えに(仮設住宅でのクリスマス会)

被災し、避難先などから仮設住宅に入居した市民の多くは、一時的な安心と今後の不安の両方を胸に抱いていたといえます。しかし、同じ境遇で暮らす人たちの間には、いつしかお互いを思いやり、ふれあう絆が生まれていました。



元東原仮設住宅自治会長
西川浩民さん
(左は妻の幸子さん)

仮設住宅内のふれあいセンターの責任者を引き受けたのがきっかけでした。ボランティア経験のある妻に支えられながらの3年半でした。最初のうちは、みなさんとの関係をもつことが、なかなかできませんでした。しかし、次第に打ち解けるにつれて、少しでも力になりたいという気持ちが強くなりました。

ほかの役員と手分けして毎朝、ひとり暮らしの高齢者や病気がちな人の安否確認をし、日中は、ふれあいセンターでみなさんと楽しい会話を交わす毎日でした。平成8年に私の自宅が再建されたのですが、たくさんの人から「出ていかないで」と言われ、その後2年近く仮設住宅にとどまりました。

今でも月に1度、当時の仲間と食事会を開いています。たくさんの人と築いてきたふれあいを、命ある限り大切にしたいと思っています。

石碑 後世に伝える



故ジャイアント馬場さん率いる全日本プロレスから贈られた明石公園の石碑



高年クラブ連合会が設置した銀座通りの石碑

銘
この碑は明石市エ
ク多連合会の
より兵庫皇南
復興のシンボル
建立された
平成十七
明石